

発行所
青森県高等学校・障害児
学校教職員組合
青森市橋本1丁目2-25
教育会館017(734)7287
編集発行人 田村儀則
購読料一部20円は組合費
の中に含む

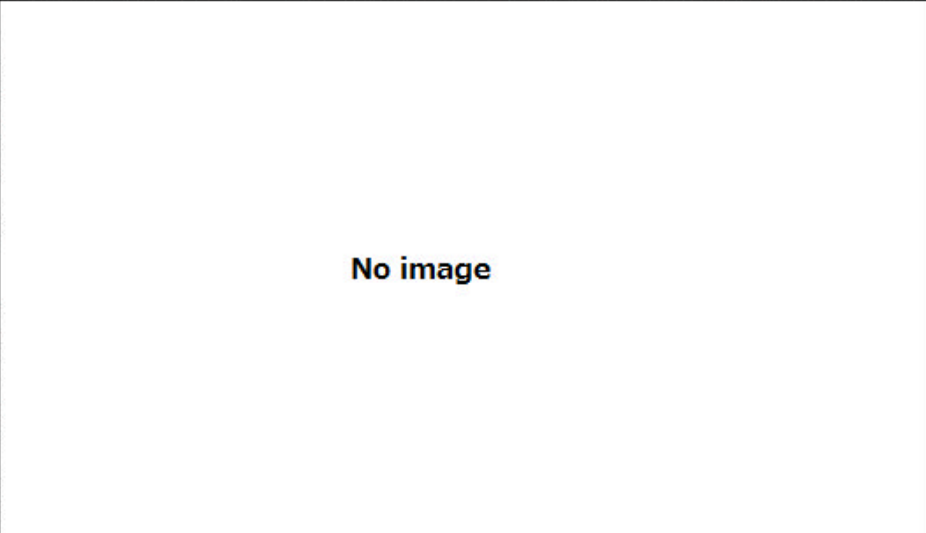
あなたも高教組の
輪の中へ!

みんなで力を合わせて
働きやすい職場、
生徒が楽しく学べる
学校を作りまし
よう。

Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/aokokyoso/> ブログ <http://plaza.rakuten.co.jp/sannkyoso05/>

7月15日水曜日、衆議院特別委員会において自民公明両党により「安保法案」の採決が強行されました。翌16日午後

衆議院本会議においても、自民公明両党により採決が強行され、「安保法案」が遂に可決されました。私たちは午前中参



8月22日に弘前市で行われた青年デモ

全国から3万4千人の賛同の声が寄せられました

「わたしの意思表示」全国教職員投票

「わたしの意思表示」全国教職員投票の記者発表を行いました。わずか半月あまりで3万4千票近くが集約されました。「戦争の悲惨さを経験したことのない世代が経験者からの忠告も聞かず、自分の信念や戦争を美化するような考えから若者や子どもを犠牲にするような愚行は許されぬ。」一部の資本家が儲けるために憲法解釈を変えることがないよう、日本人一人一人が見張っていかねばならないと思います。」青森県内の教職員から寄せられた声です。

戦前の教員は70年前、お国のために死んでこいと教え子を戦場に送り出す教育をしていました。その痛切な反省の上に戦後の教育は始まりました。教え子を再び戦場に送らないため、この「安保法案」の中身をしっかりと理解し、私たちも行動していかなくてはならないと思います。

議院議員会館内で集会を開き「全国教職員投票」の記者発表を行いました。わずか半月あまりで3万4千票近くが集約されました。「戦争の悲惨さを経験したことのない世代が経験者からの忠告も聞かず、自分の信念や戦争を美化するような考えから若者や子どもを犠牲にするような愚行は許されぬ。」一部の資本家が儲けるために憲法解釈を変えることがないよう、日本人一人一人が見張っていかねばならないと思います。」青森県内の教職員から寄せられた声です。

国民の8割が慎重に討議をとしているのに強行採決でこり押しする安保法案。憲法学者、弁護士、労働組合だけでなく、全国各地で青年たちが自ら声を上げて集会やデモをしています。東京をはじめ、関西、東北にも広がり、その勢いはさらに全国の若者たちに広がっています。8月2日にはついに高校生たちも立ち上がり渋谷でデモ行進が行われました。

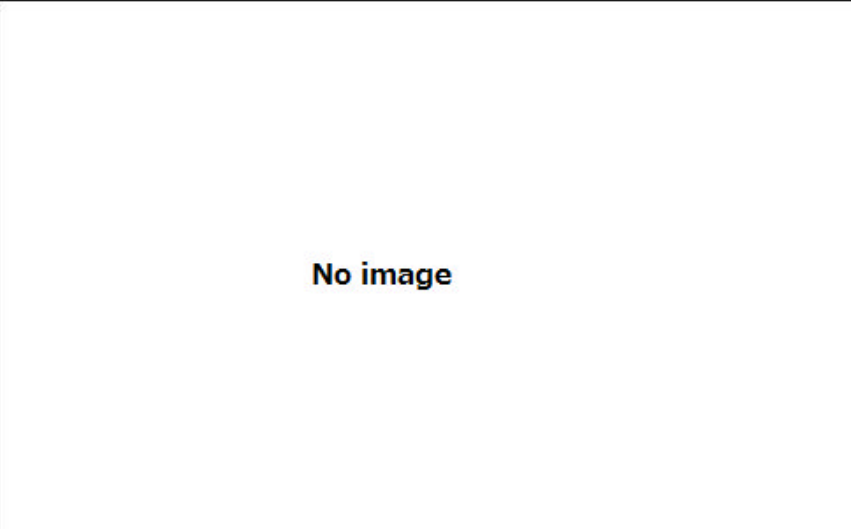
「戦争する国」ではなく、「憲法9条をいかにし、平和を広げる国」を子どもたちに手渡したい

坂道の風

▼夏休み最終日 二年生主体の新チームを率い屋外の競技会に参加した。待ち時間の彼らを見て、宿題を必死に仕上げている者、スマホに夢中な者、木の枝でチャンバラに興ずる者、と様々。彼らも来年は三年生となり進路の正念場を迎える。そして、半分近くが有権者となり参議院選挙に臨むのだ、ということに思いを馳せた▼選手としても学業でも申し分ないある三年生に進路について聞いたら「大学に行きたいが、兄が私大に通っているので自分は就職」という答えに残念な思いをしたことがある。「もっと勉強したかったのに家族のことを考えて就職」というのがやるせない▼私の学生時代、受益者負担が与党勢力から盛んに言われ、高校も大学も学費が鰻のぼりに増えた。多くの国で学費は無償か低額が常識なのに、である▼高校生たちは進路と政治についてどんなふうと考えているのか?選挙をネタに彼らの思いを聞いてみようと思ふ屋下がらだつた。(N)

被爆70年を核兵器廃絶の転機に

今年の原水爆禁止世界大会は「核兵器のない平和で公正な世界のために」被爆70年を核兵器廃絶の「転機に」を掲げ、広島・長崎の両市をメイン会場に開催されました。大会には、国連・各国政府をはじめ20か国140名を超える海外代表が来日、広島5500人、長崎6000人が参加して大きな成功を収めました。青森県から広島22人、長崎5人が参加しました。



原水爆禁止2015年世界大会広島・長崎

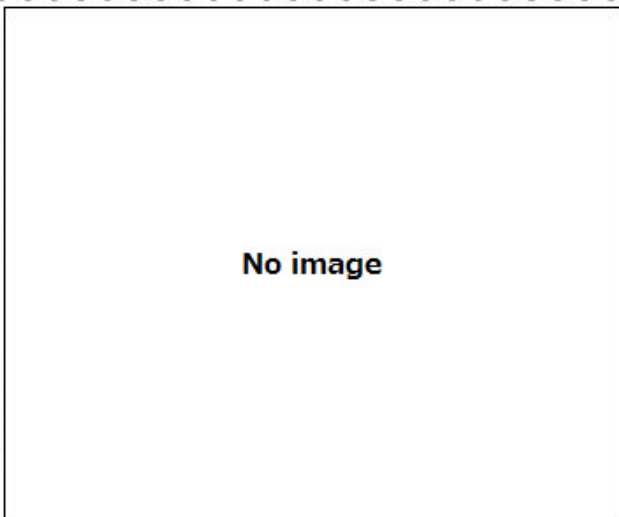


70年目の広島・長崎原爆の日は、憲法破壊の「戦争法案」の廃案を求める世論と運動のかつてない高まりのなかで迎えました。

広島、長崎決議は「ヒロシマ・ナガサキをくりかえすな」と叫びつづけてきた私たちは、ここ被爆地から、被爆者とともによびかけます。「戦争するな」「核兵器なくせ」とよびかけました。

両会場においては、議長団を含めて次々と諸外国の代表が登壇し、まさに世界大会の名に相応しい集会となりました。国際情勢を動かす各国の取り組みを紹介し、日本の原水爆禁止運動との連帯を次々と表明しました。また、各県からは青年の報告が相次ぎ、運動の継承・発展を示しました。来年の青年代表派遣を期待します。

北海道・東北の教職員組合の代表が各道県の知事に高校生・若者の就職・修学保障を要請する「就職キャラバン」が今年も実施され、7月27日には、県内の民主団体とともに青森県に要請を行いました。

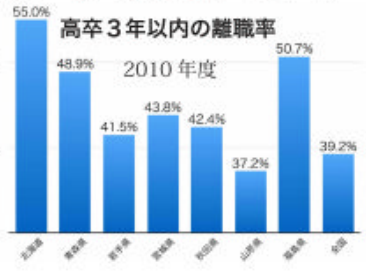


就職キャラバン

青森労働局の発表(8月20日)によれば、7月末現在の青森県の高卒業予定者への求人状況は、県内就職希望者数2,368人に対して県内求人数は、3,067人で、前年同期に比べ59.7人(2.4、2%)の増加。求人倍率(県内)は、1.30倍で、前年同期に比べ0.34ポイント上

No image

高校生・青年に安定した雇用と修学保障を！



回ったとされています。今年3月に卒業した生徒の就職率も99.8%と16年ぶりの高水準でした。しかし、3年以内の離職率を見ると東北はほとんどどの県で全国を上回る40〜50%前後の水準にあります(福島県は震災の影響によるもの)。その中でも特に北海道・青森県の離職率の高さが際立ちます。非正規雇用の増加や低賃金など労働条件の悪さを反映しているものと考えられます。これに対して、岩手県では178万円の予算で新たに就職ハンドブックを作成し、県内の全ての高校3年生、大学、短大生に配布しました。また、宮城県は離職者を出した企業と離職した若者の両方から聞き取り調査を行い、その調査結果をもとに今年対策をまとめる予定です。一方、北海道では、自衛隊が8万人以上の高校生の個人情報入手していることが新聞で報道され大きな問題となっています。キャラバン隊は各県の実情などを情報交換しながら、県に具体的な対策を要請をしました。

「学ぶ喜びと生きる喜びを 子ども・青年に」 第64回東北民教研浅虫集会

青森ねぶた祭りの最終日の8月7日(金)から9日(日)まで、第64回東北民教研(東北地区民間教育研究団体連絡協議会・日本教職員組合東北地区協議会主催)「浅虫集会」が、安保法案(戦争法案)が衆議院本会議で強行採決されるとい、東北民教研が最も大切にしてきた「子どもたちの・生活台(*)」の危機の中、浅虫温泉「ホテル海扇閣」と道の駅「ゆーさ浅虫」で開催されました。200名の参加でした。

最初に、寅谷青森民教協の様子や学校の状況等に委員長の挨拶の後、福島民協協事務局長の遠藤慎一先生より、「福島からの報告」ということで、福島原発事故から4年半経った今の「福島の子どもの生活

その後、山本由美・和光の率直な報告を頂き、その後の「小中一貫校の現状と課題」と題して、記念講演をしていただきました。

No image

記念講演を行った山本由美氏

山本先生は一日早く八戸まで来て、三戸町にある小中一貫校の「三戸学園」を視察され、教育長さんからも「品川の中小一貫校の視察」

No image

等いろいろとお話を聞かれたということで、講演にも「東通学園」など仔細に語ってくれました。国内では、「小中一貫校が優れている」という検証は全くないということなので、山本先生が中心になって調査研究に取り組む所だということでした。

その後、20の「一般分科会」と4つの「特別分科会」で熱心に討論し、来年の秋田県に引継ぎました。参加して下さった皆さんに心から御礼申し上げます。

*生活台について
1930年代、東北の縦方教師たちが文化的後進性、封建制・意識、冷酷な自然であるがゆえに、貧困にあえいでいる「北日本の特殊性」を「生活台」と呼んだ。



日本の皆さん、夏休みはどのように過ごしていますか? 予備教育センター日本留学特別コース(AAJ)には長期の夏休みはなく、ほぼ2か月ごとに1週間の休み(ブレイク)があります。夏のブレイクは7月中旬と9月下旬です。

7月9日、AAJの2年生全員が日本人学校を訪問し、6年生児童との交流会が行われました。児童たちは日本の伝統的な文化や遊びを紹介してくれました。

学生たちは事前に作成したマレーシアガイドブックを児童らに渡し、各班に分かれてマレーシアの文化を紹介しました。和やかな雰囲気の中で日本の様子について話が聞けたり、日本語を話したりする良い機会となりました。

日本留学後に帰国して日系企業への就職を希望している学生も多く、日系企業の雰囲気を感じることができました。
(北斗高校分會 片桐拓)

No image

日本の遊びを教わるマレーシアの学生たち(交流会)

みんなで学びの秋を迎えよう ～あおもり教育のつどい案内～

「あおもり教育のつどい in八戸」は、10月31日(土)、11月1日(日)に「八戸市シーガルビューホテル花と月の渚」で行われます。全体講演は、慶應義塾大学教授の佐久間重紀さんです。教師の力量形成を研究・実践し、各地の学校現場で授業づくりに取り組んでお

られる方です。
1日目は、12:30開会行事と全体講演。15:10、17:30まで生活指導(小中、高、障害児教育、地域と共同、いじめ不登校、平和、日記と子どもの各分科会が開かれ、その後夕食・交流会があります。
2日目は9:00-11:40まで国語、外国語、社会、算数数学、理科、技術家庭職業、障害児教育、保健室、事務現業の分科会が開かれます。



全国教育のつどいの報告や、県内各地で行われている実践を交流します。奮ってご参加ください。

各分会とつながり、 組合活動の継承を！ 青森高教組障害児学校部総会

No image

分会訪問をする障害児学校部長(中央)

部の活動を若い世代につなぐことに取り組む方針を確認しました。

この方針を受け、障害児学校部部長と障害児学校部書記長の2名で、夏休み中の分会訪問を行いました。

今回は東青地区4校、三八地区3校、中南地区3校の障害児学校を訪問しまし

た。各分会や学校の様子を確認する中で、障害児学校部として県教委に要求すべきことを現場から聞くことができました。分会集会の開催を要請するとともに、各集会への参加要請も行いました。その場での総合共済加入や、障害児学校部役員承認などもあり、実りのある分会訪問ができました。夏休み中に訪問できなかった分会にも、年度内に訪問をしたいと思えます。



臨時教職員のみなさんの合格を願って！ 採用試験会場で激励のチラシまき

7月25日、青森高校、青森商業高校、青森中央高校で行われた教員採用試験において、激励のチラシまきを行いました。青森高教組

が毎年行っているもので、「応援しています！」と声を掛けると、「ありがとうございます！」という元気な声返

No image

激励のチラシまき

つてきま
した。チ
ラシに
掲載し
た「直前
チェック
青森県関
連予想問
題」から

全教共済保障
**教職員のための自動車保険、
2万円ですむか?**

- 「被害者救済・加入者保護」の事故対応で教職員を守ります
- 教職員のための安心・充実の補償をご提供しています
- 教職員のカーライフをトータルでサポートします

※自動車保険は、全日本教職員組合が東京海上日動と提携して実施する自動車保険です。

は、今年も同様の問題が出題されました！終了後、「試験前に見ていたラッキーでした」と言う声をいただきました。

青森高教組は、現場で頑張る臨時教職員のみなさんをいつも応援しています。

採用試験対策講座「虎の穴Ⅶ・Ⅷ」は9月12、13、20日に行ないます。組合員限定ですが、当日組合に加入すれば参加することができます。

12日は13:00～17:00
13日は9:00～13:00
20日は10:00～17:00

①小論文演習
②模擬授業演習
③個人面接演習

受験学校種別総合演習
受験学校種別総合演習
※この三日間の中で小学校の実技演習も予定しています。希望者はお問い合わせください。

青森高教組は、現場で頑張る臨時講師のみなさんを応援しています。自分の身分は自分で守る。組合に加入してともに学び合い合格を目指しましょう。私たち「虎の穴」の合言葉は、「みんなんで学び、みんなんで合格」です。あなたの参加をお待ちしております。

**「虎の穴」直前対策やります！
～「虎の穴Ⅶ&Ⅷ」～**

第45回絵画展のご案内

会期：11月20日(金)～11月23日(月)

会場：青森市民美術館

参加料：1人 1,000円

種目：洋画、日本画、版画、写真、デザイン、書、彫刻、工芸

※1人1点1種目(彫刻、工芸、デザインは2点まで)

出品締切：10月14日(水)

<お申し込み・お問い合わせ>
青森県教育厚生会 秘書課
〒030-0823 青森市榎本1-2-25
TEL 017-721-1310 FAX 017-723-2287
E-mail souma@kyouiku-kouseikai.or.jp

全教共済

くらしの賠償責任共済

ご家族まとめて、掛金は月々150円

個人賠償責任補償は30万円無制限(宗族代行付)です

掛金の支払方法 各共済会によって異なります。くわしくは各共済会へお問い合わせください。